

資料編



● 施策の達成目標一覧表

「現状」欄は、令和2年度の実績または令和2年度に行った調査の数値を示し、調査等の時点が異なるものについては、年度を括弧内に記載しました。

「目標値」欄は、令和7年度の実績または令和7年度に行われる調査において、到達をめざす数値を示しています。

基本目標1 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材を育成します

【施策の方針1-1】 ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成

項 目		現 状 (R2)	目標値 (R7)
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	小学校	81.8% (R1)	85%
	中学校	58.2% (R1)	65%

【施策の方針1-3】 イノベーションを担う人材の育成

全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「理科の勉強は好きだ」と回答した児童生徒の割合	小学校	82.8% (R1)	90%
	中学校	67.8% (R1)	75%
国際科学技術コンテストの科学オリンピックへの参加者数		283人 (R1)	400人

【施策の方針1-4】 グローバル人材の育成

中学生で英語検定3級程度以上、高校生で英語検定準2級程度以上の英語力を有する生徒の割合	中学校	48.8% (R1)	60%
	高等学校	49.2% (R1)	60%

基本目標2 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力を育成します

【施策の方針2-1】 確かな学力の育成

項 目		現 状 (R2)	目標値 (R7)
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した児童生徒の割合	小学校	81.2% (R1)	95%
	中学校	76.9% (R1)	95%
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合	小学校	74.7% (R1)	85%
	中学校	53.9% (R1)	75%
県基礎学力調査で、「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校や地域の図書館に週1回以上行く」と回答した児童生徒の割合	小学校	48.0% (R1)	75%
	中学校	29.9% (R1)	50%
読書会、*ビブリオバトル等を実施する高等学校の割合		51.2% (R1)	60%

【施策の方針2-2】 GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上

項 目	現 状 (R2)	目標値 (R7)
授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合 (文部科学省調査)	71.7% (R1)	100%
児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合 (文部科学省調査)	74.1% (R1)	100%

【施策の方針2-4】 キャリア教育・職業教育の充実

県立全日制高等学校在学中にインターンシップ等に参加した生徒の割合	65.3% (R1)	80%
----------------------------------	---------------	-----

【施策の方針2-6】 特別支援教育の充実

特別支援学校高等部の新卒生徒のうち一般就労した生徒の割合	34.9% (R1)	40%
特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状保有率	75.3% (R1)	100%

【施策の方針2-7】 特別な教育的支援が必要な児童生徒に対するサポートの充実

小・中・高等学校の通常の学級において、特別な支援を必要と判断された全ての児童生徒に対して*個別の教育支援計画を作成した割合	79.5%	100%
---	-------	------

基本目標3 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくりを推進します

【施策の方針3-1】 心の教育・道徳教育の充実

項 目	現 状 (R2)	目標値 (R7)
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合	小学校	81.6% (R1)
	中学校	75.7% (R1)
親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」の応募数	26,657人	29,000人

【施策の方針3-4】 体験活動の充実

*青少年教育施設を活用する小中学校の割合	80.8% (R1)	100%
「*いしかわ子ども自然学校」参加者数	7,666人 (R1)	8,000人
県埋蔵文化財センター体験学習の参加者数（累計）	301,642人 (R1)	395,000人
「いしかわ学校版環境ISO」認定校の割合 ※県立学校は全校認定済み	小学校	92.6%
	中学校	87.1%

【施策の方針3-6】 児童生徒の体力・運動能力の向上

項 目		現 状 (R2)	目標値 (R7)
運動部・地域のスポーツクラブに加入している生徒の割合	中学校	73.0% (R1)	80%
	高等学校	54.0% (R1)	60%
体力・運動能力調査の5段階評価で上位2ランク(A・B)の児童生徒の割合		54.4% (R1)	60%

【施策の方針3-7】 学校保健の充実・食育の推進

朝食を毎日食べる小中学校児童生徒の割合	87.1% (R1)	100%
「げんきいっぱいカード」の目標達成者数	8,372人	8,500人

基本目標4 信頼される質の高い学校づくりを推進します

(具体的に数値化すべき施策の目標なし)

基本目標5 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上を推進します

(具体的に数値化すべき施策の目標なし)

基本目標6 社会全体で家庭や地域の教育力の向上を推進します

【施策の方針6-2】 家庭の教育力の向上

項 目	現 状 (R2)	目標値 (R7)
親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」の応募数 【再掲】	26,657人	29,000人
「げんきいっぱいカード」の目標達成者数 【再掲】	8,372人	8,500人

基本目標7 生涯にわたり学び続ける環境づくりを推進します

【施策の方針7-1】 生涯にわたる学習の推進

項 目	現 状 (R2)	目標値 (R7)
*県民大学校修了者数 (累計)	19,201人 (R1)	23,000人
「*あいあいネット」(県生涯学習情報提供システム)年間アクセス件数	60,791件 (R1)	65,000件

【施策の方針7-2】 社会教育の奨励・振興

*社会教育士取得者数 (累計)	—	100人
-----------------	---	------

【施策の方針7-3】 石川の新たな「知の殿堂」としての県立図書館の整備

*県内図書館横断検索システム年間検索件数	171,800件 (R1)	200,000件
県立図書館における貸出冊数	129,150冊 (R1)	400,000冊

基本目標 8 ライフステージに応じたスポーツ活動を充実します

【施策の方針 8-1】 生涯にわたるスポーツ活動の振興

項 目	現 状 (R2)	目標値 (R7)
成人の週1回以上のスポーツ実施率	49.4%	65%
「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」参加者数(累計)	419,820人 (R1)	500,000人
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者数	624人	690人
*総合型地域スポーツクラブ設置市町数	12市町	19市町
県立体育施設の年間利用者数	920,000人 (H30)	1,000,000人
「スポナビいしかわ」アクセス件数(年間)	303,000件 (R1)	330,000件

【施策の方針 8-2】 競技スポーツの振興

国民体育大会男女総合順位(天皇杯順位)	20位台以内3回 (H27～R1)	毎年20位台以内
全国中学校体育大会・国民体育大会(少年種別)・全国高等学校総合体育大会における入賞数	84.2件 (H27～R1平均)	100件

【施策の方針 8-3】 スポーツを通じた地域活性化

県内トップスポーツチームホームゲーム年間合計観客数	151,000人 (H27～R1平均)	155,000人
---------------------------	------------------------	----------

● 基本計画策定の経過

月	会議等の名称	内 容 等
8月	第1回石川の教育振興基本計画検討委員会 (7日)	○基本計画の経緯について ○現行計画の主な取組・成果について ○見直しに向けた今後の課題について
11月	第2回石川の教育振興基本計画検討委員会 (27日)	○基本計画（中間まとめ案）について
12月	厚生文教委員会（16日）	○基本計画（中間まとめ案）報告
	教育委員会会議（18日）	○基本計画（中間まとめ案）報告
	パブリックコメント実施 (12月21日～1月20日)	○意見件数 76件
3月	第3回石川の教育振興基本計画検討委員会 (19日)	○基本計画（最終案）について
	教育委員会会議（22日）	○基本計画（案）について ・議決
	基本計画策定	

● 石川の教育振興基本計画検討委員会委員名簿

敬称略・五十音順

氏名	役職名
飯田 弘之	北陸先端科学技術大学院大学副学長
石野 晴紀	石川県経営者協会幹事
大林 重治	石川県商工会議所連合会副会頭
桑村 佐和子	金沢美術工芸大学教授
小杉 雄二	石川県高等学校定時制通信制教育振興会会長
近藤 貴好	石川県特別支援学校長会会長
坂野 洋一※	石川県N I E 推進協議会事務局長
西田 満明	日本労働組合総連合会石川県連合会会長
野口 弘	石川県市町教育長会会長
濱坂 昌明	石川県小中学校長会会長
松川 千絵	石川県P T A連合会副会長
宮川 昌江	金沢経済同友会理事
宮本 雅春	石川県高等学校長協会会長
向 孝志	石川県私立中学高等学校協会会長
村井 淳志	金沢大学人間社会研究域長、人間社会学域長
村井 繁夫	石川県高等学校P T A連合会副会長
八重澤 美知子	金沢大学名誉教授

※ R 2.10.11 まで 青木 恵

● 用語集

用語	説明	掲載ページ
----	----	-------

【英字】

GIGA	文部科学省が提唱しているGIGAスクール構想の「GIGA」は、Global and Innovation Gateway for All（全ての人にグローバルで革新的な入り口を）の略語のこと。	7,15 39,40
GIGA スクールサポーター	ICT企業の人材など、学校におけるICT環境整備の初期対応を行う、ICT技術に知見を有する者。	40
IoT	Internet of Things の略。様々なものがインターネットに接続し、情報をやり取りすること。	1,4 44
OJT	On-the-Job Training の略。日常の具体的な仕事を通じて、必要な知識や技術、態度等を意識的・計画的・継続的に育成していくこと。	72
STEAM教育	Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics 等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育のこと。	36

【あ行】

あいあいネット (県生涯学習情報提供システム)	県民の自主的な生涯学習活動を促進・援助するため、県や市町等の生涯学習情報をインターネットにより提供するシステム。講座・講師案内や視聴覚教材情報を提供するほか、講座ビデオの映像配信等を行っている。	99,100 121
石川県中学生 サイエンスチャレンジ	課題を解決するための思考力・表現力を育成するために、県内の中学生が、理科に関する知識・技能を活用して、ものづくりや実験を競技形式で行う大会。	25
いしかわ高校科学 グランプリ	県内の科学好きの高校生が一堂に会し、筆記競技（物理、科学、生物、地学、数学、情報の6分野）及び実技競技を学校対抗のチーム戦で実施する大会。優勝チームは、全国大会である「科学の甲子園」に出場。	25
いしかわ子ども 自然学校	子供たちに石川の豊かな自然を生かした四季折々の自然体験の機会を提供し、自然を大切に作る心やたくましく生きる力を育むことを目的とするプログラム。	59,60 120
いしかわスポーツ マイレージ	スポーツを「する」「みる」「ささえる」3つの活動にポイントを付与し、利用者のスポーツ活動を見える化するスマートフォンアプリ。	109,113
いしかわニュースーパー ハイスクール (NSH)	思考力、判断力、表現力等を備え、将来、国際社会でも活躍できるリーダー的人材の育成を目指すための取組。「いしかわニュースーパーハイスクール」(H15～)をさらに進化・発展させたもの。	25,27 30
石川まいぶん博士	県埋蔵文化財センターや県内の埋蔵文化財（まいぶん）関連施設、博物館等での展示の見学や体験イベントへの参加の回数に応じて、「博士」に認定する事業。小学校3年生から中学生が対象。	60
医療的ケア	一般的に学校や在宅等で日常的に行われている、たんの吸引・経管栄養・気管切開部の衛生管理等の医行為のこと。	48

用語	説明	掲載ページ
インクルーシブ教育	人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とする目的の下、障害のある者とない者が共に学ぶこと。	47,48
オンデマンド配信	遠隔教育の定義・分類では「別の空間・時間で事前に収録された授業を、離島や病室等の学校から離れた空間で、インターネット等のメディアを通じて、視聴したい時間に受講をすることが可能な方式」のこと。	72

【 知行 】

学習指導要領	全国的に一定の教育水準が確保されるよう、文部科学省が学校教育法に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準を定めたもの。小学校、中学校、高等学校等ごとに、それぞれの教科等の目標や大まかな教育内容を定めている。	7,28 33,35 39,59
学力の三要素	学校教育法第 30 条第 2 項で規定された学力の重要な三つの要素。 ①基礎的・基本的な知識・技能、②それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度。	35
学校関係者評価	学校評価の一環として、保護者、学校評議員、地域の人々など、学校に関わりのある方により構成された評価委員会が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、学校が行った自己評価の結果等について評価すること。	77
学校評議員	保護者や地域住民の意見を幅広く校長が聞くために、教育委員会の判断により学校ごとに置くことができる委員のこと。教育に関する理解と識見を有する者のうちから、校長の推薦により教育委員会が委嘱する。	77
キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。キャリアとは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」のこと。	15,23 43
キャリア・パスポート	子供たちが、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる様々な活動について、学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオ（学習の成果をまとめて綴ったもの）のこと。小学校から中学校、高等学校へと引き継いで活用していく。	43
クラブマネジャー	総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの管理運営（経営）を中心的に担う立場の人であり、クラブの人員や予算などに応じて事業計画を立てて実行し、その進行や過程、成果を評価し、改善を図っていく役割を持つ。	109
グローバルサイエンスキャンパス	傑出した科学技術人材の育成を目的として、文部科学省が指定する大学で卓越した意欲・能力を有する高校生等を募集・選抜し、国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラムを開発・実施する事業。	26

用語	説明	掲載ページ
県内図書館横断検索システム	県内の複数の図書館の蔵書を一度に検索できるシステム。	104,121
県民大学校（大学院）	県民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる生涯学習システム。市町、大学、民間教育機関などと連携して、県内全域でさまざまな学習の機会を提供している。また、修了生を対象とした同大学院には、石川県の自然・歴史・文学に関するより専門的な学識を修得するための専修コースと、生涯学習に関する各種講座を企画運営するための講師養成コースがある。	99,100 121
校内委員会	校長のリーダーシップの下、全校的な支援体制を確立し、発達障害を含む、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の実態把握や支援方策の検討を行うため、校内に設置する特別支援教育に関する委員会のこと。	50
個別の教育支援計画	障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、教育の視点から、地域の医療・福祉・労働等関係機関との連携を図りながら、乳幼児期から学校卒業後までの長期的視野に立って、一貫した的確な指導・支援を行うために、障害のある幼児児童生徒一人一人に作成する計画のこと。	47,48 49,50 51,120
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）	学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の5）に基づいた仕組み。	77,94

【さ行】

持続可能な開発目標（SDGs）	SDGsとは Sustainable Development Goals の頭文字をとったもの。2015年9月の国連サミットで、国際社会全体の開発目標として採択された2030年を期限とする包括的な17の目標。	7,36
社会教育士	社会教育主事講習等規定の一部を改正する省令（R2年度）により、社会教育主事講習や養成課程の修了者に新たに付与される称号のこと。社会教育士には、社会教育施設だけでなく、学校や地域、企業等の多様な場、また環境や福祉、まちづくり等の多様な分野において、学びの支援やネットワークづくりに携わる役割が期待される。	101,102 121
社会教育施設	市民に対し、教育・文化・スポーツ等に関するサービスを提供することを目的に設置される施設。公民館、図書館、博物館、体育館等がある。	97,100
若年無業者	15歳以上34歳以下の個人のうち、収入を伴う仕事あるいは仕事を探す活動をしておらず、家事も通学もしていない者。	43
小学校高学年からの教科担任制	きめ細かな指導の充実のために、教科指導の専門性を持った教師が特定の教科を担当する制度。抽象的な思考が高まり、それに対応して各教科等の学習が高度化する小学校高学年を対象としている。	37,79
職業教育	一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能、能力や態度を育てる教育のこと。	47,48
スクールカウンセラー	不登校やいじめなどの児童生徒の問題行動等に対応するために、児童生徒の臨床心理に関する専門的な知識や経験を有し、児童生徒へのカウンセリング、教職員や保護者に対する助言・援助を行う専門家のこと。	58,70 77

用語	説明	掲載ページ
スクール ソーシャルワーカー	社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家のこと。	58,70 77
ストレスチェック	ストレスに関する質問票（選択回答）に労働者が記入し、それを集計・分析することで、自分のストレスがどのような状態にあるのかを調べる簡単な検査。労働安全衛生法が改正され、労働者が50人以上いる事業所では、平成27年12月から、毎年1回、この検査を全ての労働者に対して実施することが義務付けられた。	74
スーパーサイエンス ハイスクール（SSH）	平成14年度より文部科学省が、科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高等学校を指定。指定校では、未来を担う科学技術系人材の育成を目的として、理数系教育に関するカリキュラムの開発・実践や高大接続の在り方についての研究開発を実施する。	25,26 30
青少年教育施設	集団宿泊訓練、野外活動、自然観察、その他の活動を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的に設置した施設。	59,60 97,120
性的少数者	性的指向または性自認における少数者を表す総称。	56
全国学力・学習状況 調査	学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として国が平成19年度から実施している調査。全国的な児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。小学校第6学年及び中学校第3学年を対象として、教科に関する調査（知識・活用を一体的に問う問題）及び生活習慣や学校環境に関する質問紙調査を実施。	25,33 64
全国体力・運動能力、 運動習慣等調査	小中学校の体力の状況を把握・分析し体力向上に役立てることを目的として国が平成20年度から実施している調査。小学校第5学年及び中学校第2学年を対象として、「握力」「上体起こし」など8種目の実技調査、運動習慣・生活習慣・食習慣などに関する質問紙調査を実施。	63,64
センター的機能	特別支援学校がこれまで培ってきた高い専門性を生かしながら、地域の幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校、高等学校からの要請に応じて、必要な指導・助言や研修等を行うなど、各学校の教員の専門性や施設・設備を活かした地域における特別支援教育のセンターとしての役割を担うこと。	47
総合型地域スポーツ クラブ	地域住民が主体的に運営し、地域の特性や実状に応じてスポーツを楽しむことのできるスポーツクラブ。複数の種目が用意され、誰もが年齢、興味・関心、技術・技能レベルなどに応じていつでも活動できることなどを特徴としている。	107,110 122
相対的貧困率	OECDの作成基準に基づき、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分に満たない世帯員の割合。	5

用語	説明	掲載ページ
----	----	-------

【た行】

体力合計点	小学生は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の8種目、中学生は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「持久走(男子1,500m、女子1,000m)又は20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の8種目を実施し、各種目10点満点で計80点満点。	9
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めた学力のこと。	1,15 33,79
地域学校協働活動	地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う登下校の見守りや学校の環境整備等の活動。	93
中1ギャップ	小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校等の生徒指導上の諸問題が発生する現象のこと。	79
チーム学校	校長のリーダーシップの下、教職員や様々な専門スタッフがチームとして適切に役割分担し、学校の教育力・組織力を向上させる取組。	11
通級指導教室	小中学校の通常の学級に在籍している児童生徒の中で、障害により特別な配慮や対応が必要な児童生徒が一定時間、障害に応じた特別な指導を受けることができる教室のこと。	8,47 49,50 80
統合型校務支援システム	教務系(成績処理、出欠管理、時数管理等)、保健系(健康診断票、保健室来室管理等)、学籍系(指導要録等)、学校事務系などを統合した機能を有しているシステム。	82
特別支援学級	障害の比較的軽い児童生徒のために、小中学校に障害の種別ごとに設置される少人数の学級のこと。弱視、難聴、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、自閉症・情緒障害の学級がある。	8,47 49
特別支援教育コーディネーター	各学校の特別支援教育を推進するために、学校内では、校内委員会や校内研修の企画・運営、担任への支援を行い、対外的には、医療、福祉等の関係機関との連絡・調整、保護者からの相談窓口等の役割を担う教員のこと。	50
トライアル雇用	県教育委員会が実施する事業で、特別支援学校の卒業生を対象に、一般就労に必要な知識・技能の習得及び向上を図ることを目的に、県立学校の環境整備や事務補助業務を行う非常勤職員として最長2年間雇用するもの。	48

【は行】

発達障害	アスペルガー症候群等の広汎性発達障害(自閉スペクトラム症)、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、自閉症等その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するもののうち、言語の障害、協調運動の障害、心理的発達の障害並びに行動及び情緒の障害。	8,50 51,73
------	--	---------------

用語	説明	掲載ページ
「早寝・早起き・朝ごはん」運動	子供の食事、睡眠などの乱れを個々の家庭や子供の問題とするのではなく、社会全体の問題としてとらえ、子供が健やかに成長するための望ましい基本的生活習慣の育成や、生活リズムの向上を目的として地域全体で取り組む運動。	95
ビブリオバトル	読書活動の一つで、発表者が順番に本を紹介し、それについてディスカッションを行い、「最も読みたくなった本（チャンプ本）」を参加者全員の投票によって決める書評会。	38,119
ファシリテーター	お互いのコミュニケーションを円滑に促進し、一人一人の経験、知識、意欲を引き出しながら、話し合いをスムーズに行うことができるよう調整する役割を担う人のこと。	100
フィルタリング	インターネットのページを一定の基準により「表示してよいもの」と「表示禁止のもの」などに分け、ページへのアクセスを制限する機能のこと。	57,58 95
部活動指導員	部活動顧問の負担を軽減させるため、専門的な知識・技能による指導のみならず、教員と同等に学校教育に関する十分な理解と生徒への適切な指導と事故が発生した場合の安全確保を前提に、単独で技術指導や大会引率が可能な指導員。	83
不登校児童生徒	何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいは登校したくてもできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。	57,58
フリースクール	一般に、不登校の子供に対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設のこと。その規模や活動内容は多種多様であり、民間の自主性・主体性の下に設置・運営されている。	58
併設型中高一貫教育校	同一の設置者による中学校と高等学校を接続して、中高一貫教育を行う学校。本県では、県立金沢錦丘中学校が県立金沢錦丘高等学校に併設されている。	79

【や行】

夜間中学	夜の時間帯に授業が行われる公立中学校の夜間学級のこと。	80
ユニバーサルデザイン	年齢や障害の有無などにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用しやすいように初めから意図してつくられた施設、製品、制度、サービス等のデザインのこと。	47,108

【ら行】

レファレンス	利用者の求めに応じて、図書館職員が情報や資料を検索・提供し、調査・研究を支援すること。	38
--------	---	----

【わ行】

ワークライフバランス	「仕事と生活の調和」と訳される。その目的はワーク（仕事）とライフ（生活）をうまく調和させ、相乗効果を及ぼし合う好循環を生み出すこと。	6,74
------------	--	------

第3期 石川の教育振興基本計画

策定 令和3年3月

発行 令和3年3月

発行者 石川県教育委員会事務局庶務課

教育振興・教員確保指導力向上推進室

〒920-8575 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL : 076-225-1811 FAX : 076-225-1814

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.html>



